

● 市民と河川管理者の合意の形成

天竜川ゆめ会議

天竜川ゆめ会議は、流域委員会(仮称)に先立って開催するもので、公募による地域のみなさんと河川管理者などが話し合いを進め、お互いの信頼関係を深めながら協力して、水系全体をふまえた天竜川について話し合い、合意形成をめざす場として設けたものです。

会議の正式名称は、H12.9.10にメンバーにより決定されました。



● 天竜川みらい計画と河川整備計画

天竜川みらい計画

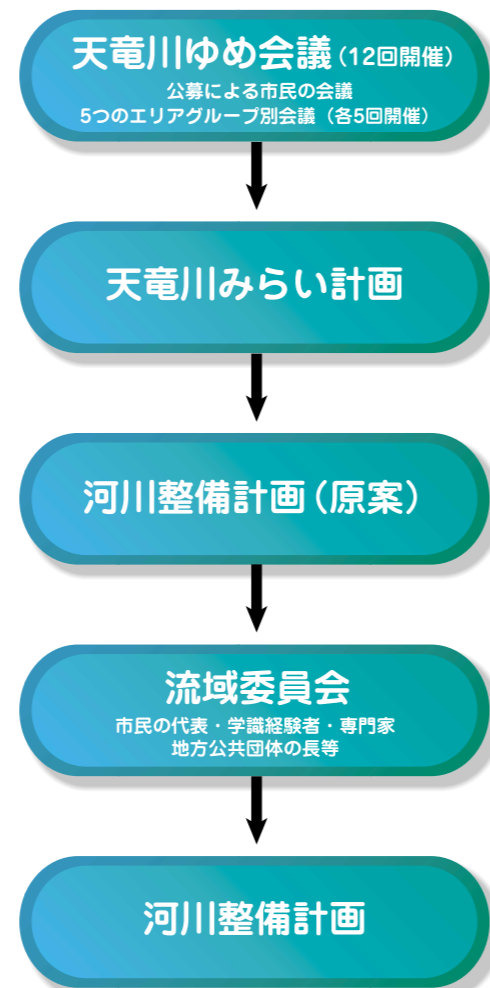
天竜川ゆめ会議の場で議論される計画です。

- 計画の範囲
釜口水門より長野県境までの天竜川及び主な支川
- 計画の内容
天竜川のみらい像
重要なエリア毎の整備・保全・利用の方針

河川整備計画

河川管理者は、天竜川みらい計画を、天竜川を育む理念としてふまえ、河川整備計画を策定します。

- 計画の内容
河川整備の目標
河川工事、河川維持の内容
目的、種類及び施行の場所



● 天竜川のみらい方針

天竜川ゆめ会議では、対象範囲の天竜川と主な支川のみらい像の基本方針を定めました。基本方針は、「流域住民の意識」「環境」「利用」「治水」の4つの柱から構成されています。

環境	利用	治水
1.水質 ■「泳げる川」「飲む水」を目指し、四季を通して水清らかな天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・カジカやアメノウオが棲める川 ・浄化施設等の整備による流入水の浄化 ・植生など自然の浄化力利用 ・流域の住民自身が水を汚さない ・水質に配慮したダム管理 	1.川の文化の継承と創造 ■歴史や文化を育み、地域の個性を生かす天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・古くからの風俗・習慣を継承する川 ・歴史遺産を大切にしたい川 ・人々の交流を生み出す川 	1.川の怖さを知る・知らせる ■厳しさを知り、洪水とつきあう知恵を生かす天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・暴れ天竜と治水の歴史を学ぶ ・洪水に関する正確な情報の提供 ・洪水危険区域における生活の工夫
2.水量 ■豊かな水をたたえる天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・流域の保水力を高め、普段の水量を確保 ・ダム下流への放流により、ダム直下でも水量の確保 ・利水を見直し、河川流量の復元 	2.川の利用 ■水に触れ、安らぎ、心いやされる天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも誰もが、訪れたい川 ・瀬や淵などの変化がある川 ・裸足で水遊びが楽しめる安全な川 ・水辺に近づきやすい川 	2.治水のあり方 ■流域全体で洪水に備える天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・山林や農地等の保水機能の向上 ・市街地の貯留・浸透機能の向上 ・霞堤や遊水池の利用 ・自然の摂理を踏まえた土地利用
3.動植物 ■伊那谷らしい多様な動植物が共存する天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・河原の中に小水路、湿地、植生地等、多様な自然環境がある川 ・本川、支川を含む広域的な緑のつながりがある川 ・魚の往来が容易な川 ・ホタルのとびかう川 ・在来の動植物が、大切に守られている川 	3.川と学習 ■川に遊び、川に学び、川に誇りを持つ心を育てる天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・川の素晴らしさや怖さを学べる川 ・自然観察が楽しめる川 ・学校教育の一環として利用できる川 ・川下りを楽しめる川 ・仲間を呼び増やしたくなる川 	■環境・景観に配慮した天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・動植物が生息・生育しやすい川 ・周囲の自然景観に調和した護岸のある川 ・河道内の立木が適切に伐採除去された川
4.景観 ■豊かな自然を大切に、伊那谷の特性を生かした景観を創出する天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・アルプスや溪谷の美しさを大切にしたい景観の創出 ・四季おりおりの自然に誘われ、誰でも行きたくくなるような川 ・自然回復力による景観の再生 	4.川の恵み ■川の恵みを活用できる天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の生業(なりわい)を支える川 ・伊那谷の食文化を支える川 ・水のエネルギーを活用する川 	■安全に土砂の流れる天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・山から海への自然な土砂の流れの保全 ・安定した河床の維持
		■知恵と工夫を生かして水害を防ぐ天竜川 <ul style="list-style-type: none"> ・被災や流れの特性を踏まえた防災の工夫 ・天竜川の伝統ある工法の継承 ・新たな工法と天竜川らしさの調和 ・治水施設の維持管理の強化

